

大阪府債の発行管理に関する基本的な考え方及び事務取扱指針の改訂に至る経緯

- 平成22年10月:「大阪府財政構造改革プラン(案)」を策定
 - 財務マネジメント機能向上の必要性を指摘
- 平成23年4月:大阪府財務マネジメント委員会が「財務マネジメントに関する調査分析報告書」を公表
 - 府税収入と金利等との間の相関関係を想定
 - ⇒ 府債の一定割合を変動金利化することで、利払い額の低減等の効果が見込まれることを記載
- 平成23年7月:第3回大阪府財務マネジメント委員会
 - 同報告書を踏まえて、大阪府が作成した「大阪府債の発行管理に関する基本的な考え方及び事務取扱指針(素案)」を報告
- 平成23年8月:大阪府が「大阪府債の発行管理に関する基本的な考え方及び事務取扱指針」を策定
- 平成30年2月:第13回大阪府財務マネジメント委員会
 - 府税収入と金利との間の正の相関関係が成り立たなくなっていることを確認
 - 変動金利債としての2年債の発行についての考え方を再検討
- 平成30年7月:第14回大阪府財務マネジメント委員会
 - (固定金利債としての)2年債の発行意義を整理
 - 大阪府は市場動向を確認の上、今後、2年債の発行の是非について慎重に検討



これまでの財務マネジメント委員会での議論を踏まえ、同指針の変動金利で管理する府債の割合等の記述について削除するもの